

第2章 同和問題（部落差別）について

問8 同和問題（部落差別）の認知時期

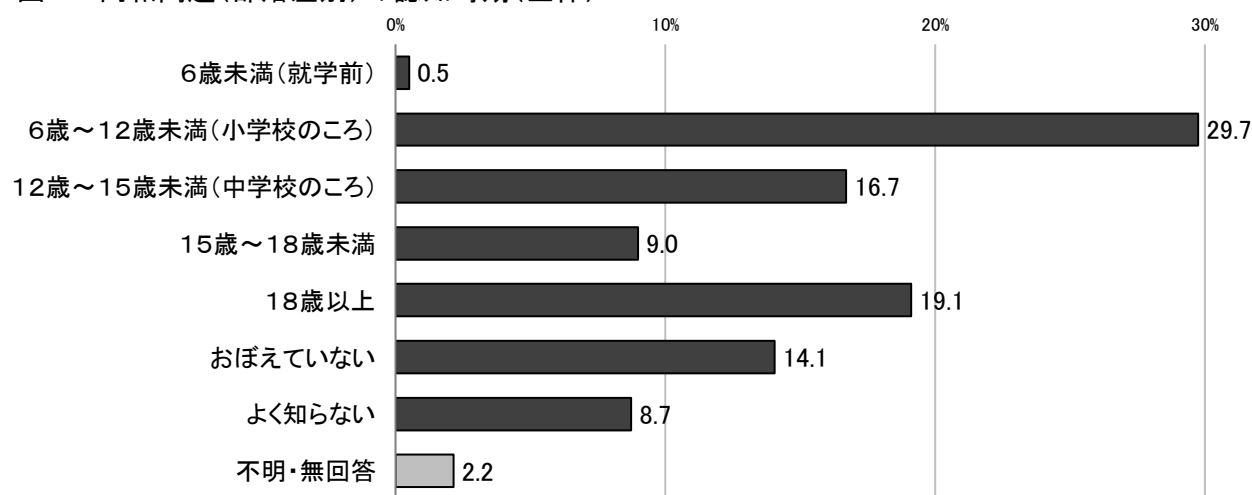
同和問題（部落差別）といわれる、同和地区（被差別部落）出身であるというだけで、不当に差別され、社会的な不利益を受けている人々の人権問題があるということをはじめて知ったのは、いつ頃ですか。（1つに○）

1）全体及び性別特徴

		上段：実数（人） 下段：比率（％）								
問8		回答数	6歳未満（就学前）	6歳～12歳未満（小学校のころ）	12歳～15歳未満（中学校のころ）	15歳～18歳未満	18歳以上	おぼえていない	よく知らない	不明・無回答
全 体		790	4	235	132	71	151	111	69	17
		100.0	0.5	29.7	16.7	9.0	19.1	14.1	8.7	2.2
性	男 性	348	2	96	60	40	67	43	36	4
		100.0	0.6	27.6	17.2	11.5	19.3	12.4	10.3	1.1
別	女 性	421	2	134	69	28	80	65	32	11
		100.0	0.5	31.8	16.4	6.7	19.0	15.4	7.6	2.6
	その他	3	0	1	0	0	1	1	0	0
		100.0	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0
	不明・無回答	18	0	4	3	3	3	2	1	2
		100.0	0.0	22.2	16.7	16.7	16.7	11.1	5.6	11.1

性別による特段の差異はない

図8-1 同和問題（部落差別）の認知時期（全体）



認知した時期については、「6歳未満(就学前)」0.5%、「6歳～12歳未満(小学校のころ)」29.7%、「12歳～15歳未満(中学校のころ)」16.7%、「15歳～18歳未満」9.0%で、全体の55.9%になり、約半数の人が、18歳までに認知している。

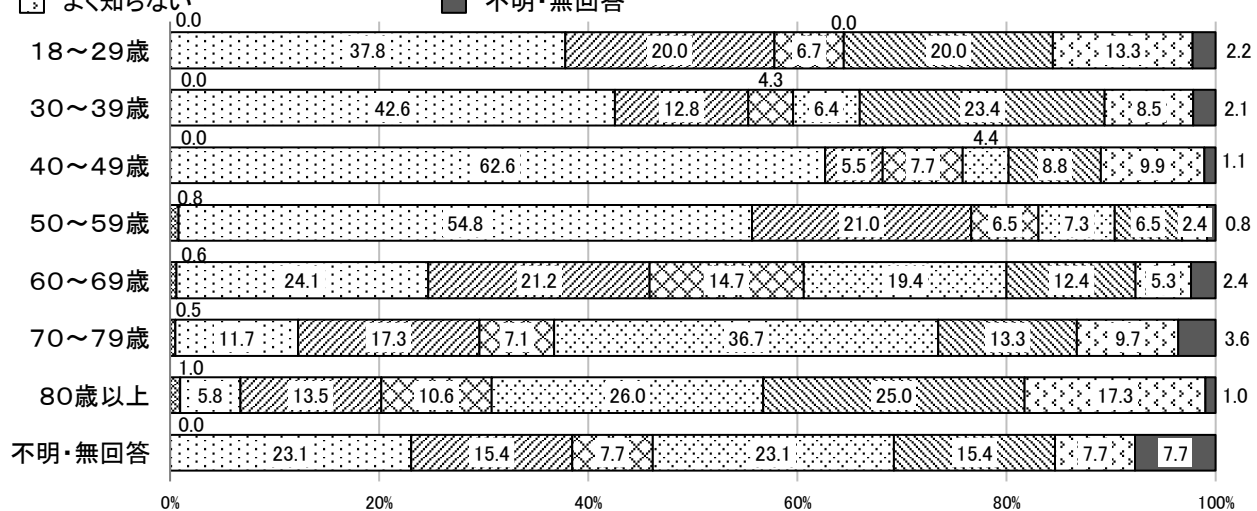
2) 年齢層別特徴

上段:実数(人) 下段:比率(%)

問8		回答数	6歳未満(就学前)	6歳～12歳未満(小学校のころ)	12歳～15歳未満(中学校のころ)	15歳～18歳未満	18歳以上	おぼえていない	よく知らない	不明・無回答
全 体		790	4	235	132	71	151	111	69	17
		100.0	0.5	29.7	16.7	9.0	19.1	14.1	8.7	2.2
年 齢	18～29歳	45	0	17	9	3	0	9	6	1
		100.0	0.0	37.8	20.0	6.7	0.0	20.0	13.3	2.2
	30～39歳	47	0	20	6	2	3	11	4	1
		100.0	0.0	42.6	12.8	4.3	6.4	23.4	8.5	2.1
	40～49歳	91	0	57	5	7	4	8	9	1
		100.0	0.0	62.6	5.5	7.7	4.4	8.8	9.9	1.1
	50～59歳	124	1	68	26	8	9	8	3	1
		100.0	0.8	54.8	21.0	6.5	7.3	6.5	2.4	0.8
	60～69歳	170	1	41	36	25	33	21	9	4
		100.0	0.6	24.1	21.2	14.7	19.4	12.4	5.3	2.4
	70～79歳	196	1	23	34	14	72	26	19	7
		100.0	0.5	11.7	17.3	7.1	36.7	13.3	9.7	3.6
	80歳以上	104	1	6	14	11	27	26	18	1
		100.0	1.0	5.8	13.5	10.6	26.0	25.0	17.3	1.0
	不明・無回答	13	0	3	2	1	3	2	1	1
		100.0	0.0	23.1	15.4	7.7	23.1	15.4	7.7	7.7

図8-3 同和問題(部落差別)の認知時期(年齢層別)

6歳未満(就学前) 6歳～12歳未満(小学校のころ) 12歳～15歳未満(中学校のころ)
 15歳～18歳未満 18歳以上 おぼえていない
 よく知らない 不明・無回答



「6歳～12歳未満(小学校のころ)」で高いのは、「40～49歳」の62.6%、次いで「50～59歳」の54.8%になっている。

「18歳以上」で高いのは、「70～79歳」の36.7%、次いで「80歳以上」の26.0%になっている。

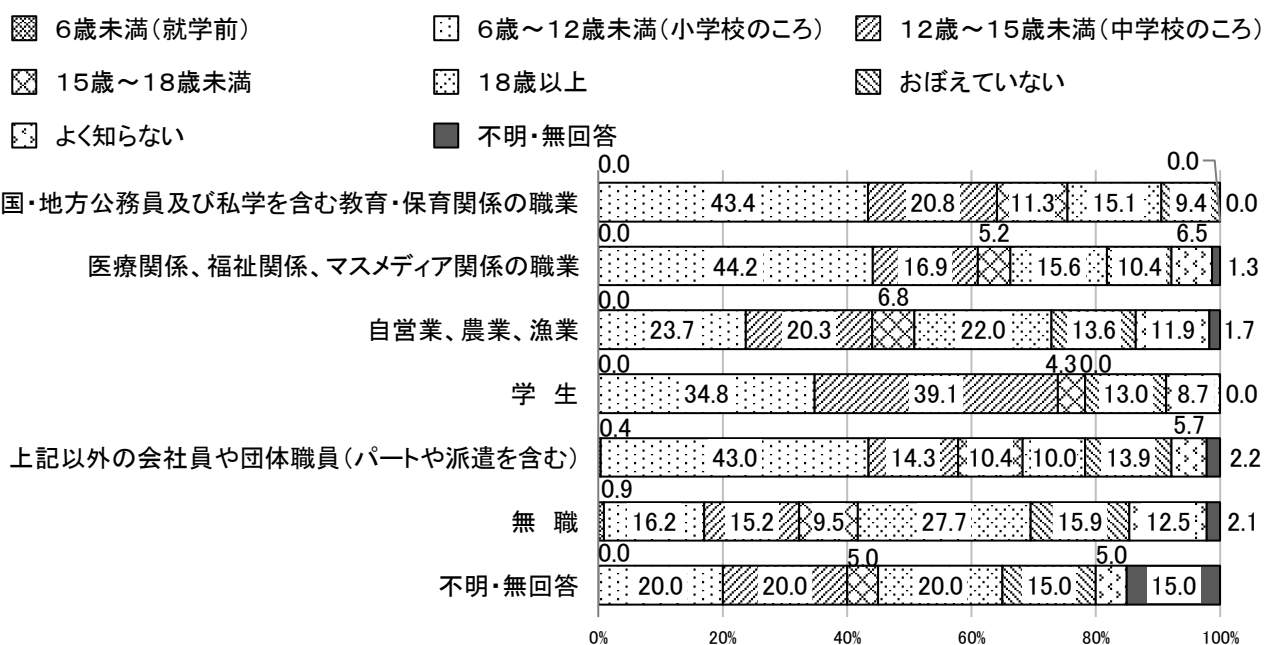
「60～69歳」の年齢層を境に、認知の仕方に変化が起きていることがわかる。

3) 職業別特徴

上段:実数(人) 下段:比率(%)

問8	回答数	6歳未満(就学前)	6歳～12歳未満(小学校のころ)	12歳～15歳未満(中学校のころ)	15歳～18歳未満	18歳以上	おぼえていない	よく知らない	不明・無回答
全 体	790	4	235	132	71	151	111	69	17
	100.0	0.5	29.7	16.7	9.0	19.1	14.1	8.7	2.2
職 業	国・地方公務員及び私学を含む教育・保育関係の職業	53	23	11	6	8	5	0	0
		100.0	0.0	43.4	20.8	11.3	15.1	9.4	0.0
	医療関係、福祉関係、マスメディア関係の職業	77	34	13	4	12	8	5	1
		100.0	0.0	44.2	16.9	5.2	15.6	10.4	1.3
	自営業、農業、漁業	59	14	12	4	13	8	7	1
		100.0	0.0	23.7	20.3	6.8	22.0	13.6	1.7
	学 生	23	8	9	1	0	3	2	0
		100.0	0.0	34.8	39.1	4.3	0.0	13.0	0.0
	上記以外の会社員や団体職員(パートや派遣を含む)	230	99	33	24	23	32	13	5
		100.0	0.4	43.0	14.3	10.4	10.0	13.9	2.2
業	無 職	328	53	50	31	91	52	41	7
		100.0	0.9	16.2	15.2	9.5	27.7	15.9	2.1
	不明・無回答	20	4	4	1	4	3	1	3
		100.0	0.0	20.0	20.0	5.0	20.0	15.0	15.0

図8-4 同和問題(部落差別)の認知時期(職業別)



義務教育時代(「6歳～12歳未満(小学校のころ)」及び「12歳～15歳未満(中学校のころ)」)の認知では、「学生」の73.9%が最も高く、次いで「国・地方公務員及び私学を含む教育・保育関係の職業」の64.2%、「医療関係、福祉関係、マスメディア関係の職業」の61.1%である。

「18歳以上」で高いのは、「無職」の27.7%、次いで「自営業、農業、漁業」の22.0%である。

問9 同和問題（部落差別）の認知経路

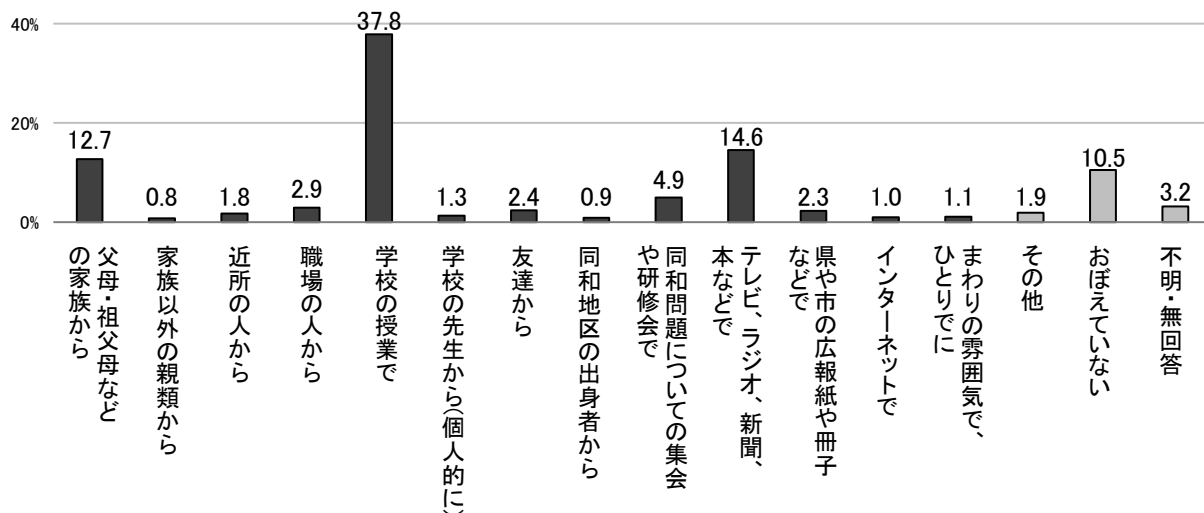
同和問題（部落差別）についてはじめて知ったのは、何によってですか。（1つに○）

1）全体及び性別特徴

問9	回答数	父母・祖父母などの家族から	家族以外の親類から	近所の人から	職場の人から	学校の授業で	学校の先生から（個人的に）	友達から	同和地区の出身者から
全 体	790	100	6	14	23	299	10	19	7
	100.0	12.7	0.8	1.8	2.9	37.8	1.3	2.4	0.9
性別	男 性	348	42	4	16	127	3	9	4
		100.0	12.1	1.1	4.6	36.5	0.9	2.6	1.1
	女 性	421	54	2	7	167	7	8	3
		100.0	12.8	0.5	1.7	39.7	1.7	1.9	0.7
	その他	3	1	0	0	1	0	0	0
		100.0	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
別	不明・無回答	18	3	0	1	4	0	2	0
		100.0	16.7	0.0	5.6	22.2	0.0	11.1	0.0
問9	研修会や同和問題についての集いや	テレビ、ラジオ、新聞、本などで	県や市の広報紙や冊子などで	インターネットで	まわりの雰囲気、ひとりで	その他	おぼえていない	不明・無回答	
全 体	39	115	18	8	9	15	83	25	
	4.9	14.6	2.3	1.0	1.1	1.9	10.5	3.2	
性別	女 性	23	51	5	6	5	8	33	8
		6.6	14.7	1.4	1.7	1.4	2.3	9.5	2.3
	男 性	15	60	13	2	3	7	48	16
		3.6	14.3	3.1	0.5	0.7	1.7	11.4	3.8
	その他	1	0	0	0	0	0	0	0
		33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
別	不明・無回答	0	4	0	0	1	0	2	1
		0.0	22.2	0.0	0.0	5.6	0.0	11.1	5.6

性別による特段の差異はない。

図9-1 同和問題（部落差別）の認知経路（全体）



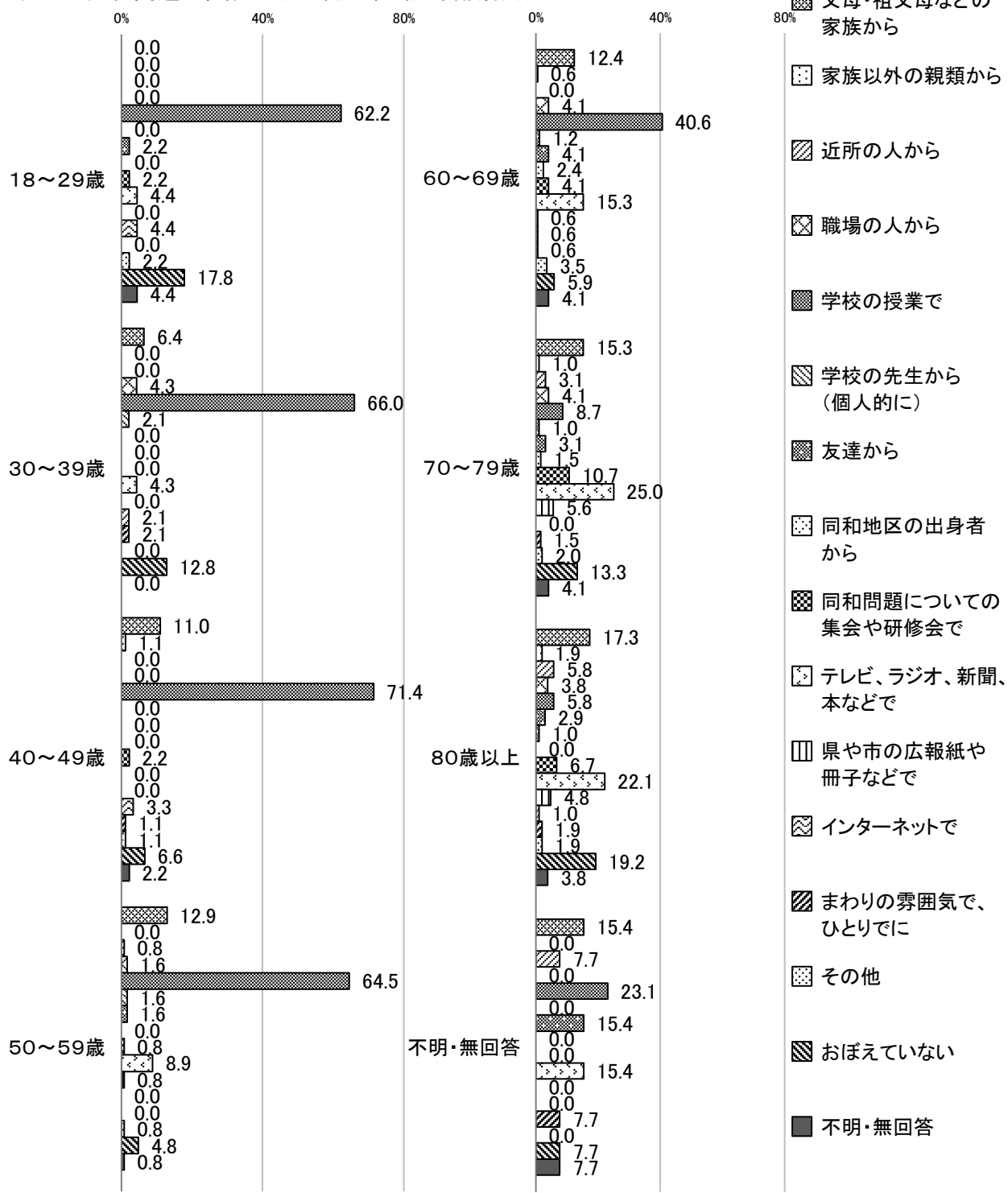
「学校の授業で」37.8%が最も高く、次いで「テレビ、ラジオ、新聞、本などで」のマスメディア関係14.6%、「父母・祖父母などの家族」12.7%になっている。

2) 年齢層別特徴

上段:実数(人) 下段:比率(%)

問9		回答数	父母などの家族から	家族以外の親類から	近所の人から	職場の人から	学校の授業で	学校の先生から (個人的に)	友達から	同和地区の出身者から
全 体		790	100	6	14	23	299	10	19	7
		100.0	12.7	0.8	1.8	2.9	37.8	1.3	2.4	0.9
年 齢	18～29歳	45	0	0	0	0	28	0	1	0
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	62.2	0.0	2.2	0.0
	30～39歳	47	3	0	0	2	31	1	0	0
		100.0	6.4	0.0	0.0	4.3	66.0	2.1	0.0	0.0
	40～49歳	91	10	1	0	0	65	0	0	0
		100.0	11.0	1.1	0.0	0.0	71.4	0.0	0.0	0.0
	50～59歳	124	16	0	1	2	80	2	2	0
		100.0	12.9	0.0	0.8	1.6	64.5	1.6	1.6	0.0
	60～69歳	170	21	1	0	7	69	2	7	4
		100.0	12.4	0.6	0.0	4.1	40.6	1.2	4.1	2.4
	70～79歳	196	30	2	6	8	17	2	6	3
		100.0	15.3	1.0	3.1	4.1	8.7	1.0	3.1	1.5
	80歳以上	104	18	2	6	4	6	3	1	0
		100.0	17.3	1.9	5.8	3.8	5.8	2.9	1.0	0.0
	不明・無回答	13	2	0	1	0	3	0	2	0
		100.0	15.4	0.0	7.7	0.0	23.1	0.0	15.4	0.0
問9		研修会での集いや 同和問題に ついての 研究会	ラテなど、 雑誌、 新聞、 本など	県や市などの 広報紙 や冊子	インターネット	まわり の 雰囲気 で 気	その他	おぼえて いない	不明・ 無回答	
全 体		39	115	18	8	9	15	83	25	
		4.9	14.6	2.3	1.0	1.1	1.9	10.5	3.2	
年 齢	18～29歳	1	2	0	2	0	1	8	2	
		2.2	4.4	0.0	4.4	0.0	2.2	17.8	4.4	
	30～39歳	0	2	0	1	1	0	6	0	
		0.0	4.3	0.0	2.1	2.1	0.0	12.8	0.0	
	40～49歳	2	0	0	3	1	1	6	2	
		2.2	0.0	0.0	3.3	1.1	1.1	6.6	2.2	
	50～59歳	1	11	1	0	0	1	6	1	
		0.8	8.9	0.8	0.0	0.0	0.8	4.8	0.8	
	60～69歳	7	26	1	1	1	6	10	7	
		4.1	15.3	0.6	0.6	0.6	3.5	5.9	4.1	
	70～79歳	21	49	11	0	3	4	26	8	
		10.7	25.0	5.6	0.0	1.5	2.0	13.3	4.1	
	80歳以上	7	23	5	1	2	2	20	4	
		6.7	22.1	4.8	1.0	1.9	1.9	19.2	3.8	
	不明・無回答	0	2	0	0	1	0	1	1	
		0.0	15.4	0.0	0.0	7.7	0.0	7.7	7.7	

図9-3 同和問題(部落差別)の認知経路(年齢層別)



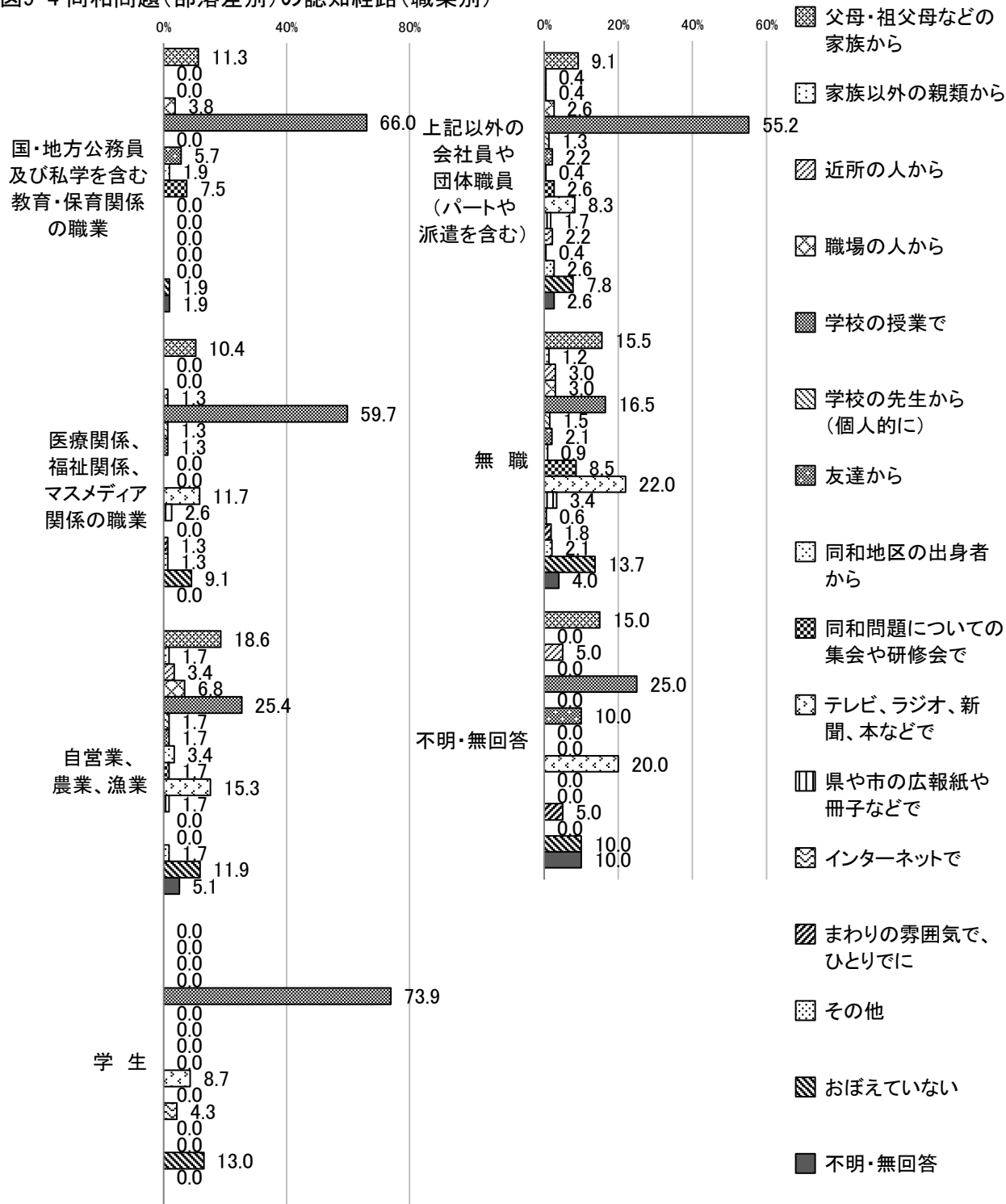
18 歳から 69 歳までは、「学校の授業で」が最も高く、70 歳以上では認知経路は多様で、「テレビ、ラジオ、新聞、本などで」が高くなっている。

3) 職業別特徴

上段:実数(人) 下段:比率(%)

問9		回答数	父母などの家族から	家族以外の親類から	近所の人から	職場の人から	学校の授業で	学校の先生から(個人的に)	友達から	同和地区の出身者から
全 体		790	100	6	14	23	299	10	19	7
		100.0	12.7	0.8	1.8	2.9	37.8	1.3	2.4	0.9
職業	国・地方公務員及び私学を含む教育・保育関係の職業	53	6	0	0	2	35	0	3	1
		100.0	11.3	0.0	0.0	3.8	66.0	0.0	5.7	1.9
	医療関係、福祉関係、マスメディア関係の職業	77	8	0	0	1	46	1	1	0
		100.0	10.4	0.0	0.0	1.3	59.7	1.3	1.3	0.0
	自営業、農業、漁業	59	11	1	2	4	15	1	1	2
		100.0	18.6	1.7	3.4	6.8	25.4	1.7	1.7	3.4
	学 生	23	0	0	0	0	17	0	0	0
		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	73.9	0.0	0.0	0.0
	上記以外の会社員や団体職員(パートや派遣を含む)	230	21	1	1	6	127	3	5	1
		100.0	9.1	0.4	0.4	2.6	55.2	1.3	2.2	0.4
業	無 職	328	51	4	10	10	54	5	7	3
		100.0	15.5	1.2	3.0	3.0	16.5	1.5	2.1	0.9
	不明・無回答	20	3	0	1	0	5	0	2	0
		100.0	15.0	0.0	5.0	0.0	25.0	0.0	10.0	0.0
問9		研究・研修、同和問題、社会や	本来的なジャンル、オビで、新聞、	や県や市などの広報紙	でインターネット	でまわり、ひとりで囲に気	その他	おぼえていない	不明・無回答	
全 体		39	115	18	8	9	15	83	25	
		4.9	14.6	2.3	1.0	1.1	1.9	10.5	3.2	
職業	国・地方公務員及び私学を含む教育・保育関係の職業	4	0	0	0	0	0	1	1	
		7.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.9	1.9	
	医療関係、福祉関係、マスメディア関係の職業	0	9	2	0	1	1	7	0	
		0.0	11.7	2.6	0.0	1.3	1.3	9.1	0.0	
	自営業、農業、漁業	1	9	1	0	0	1	7	3	
		1.7	15.3	1.7	0.0	0.0	1.7	11.9	5.1	
	学 生	0	2	0	1	0	0	3	0	
		0.0	8.7	0.0	4.3	0.0	0.0	13.0	0.0	
	上記以外の会社員や団体職員(パートや派遣を含む)	6	19	4	5	1	6	18	6	
		2.6	8.3	1.7	2.2	0.4	2.6	7.8	2.6	
業	無 職	28	72	11	2	6	7	45	13	
		8.5	22.0	3.4	0.6	1.8	2.1	13.7	4.0	
	不明・無回答	0	4	0	0	1	0	2	2	
		0.0	20.0	0.0	0.0	5.0	0.0	10.0	10.0	

図9-4 同和問題(部落差別)の認知経路(職業別)



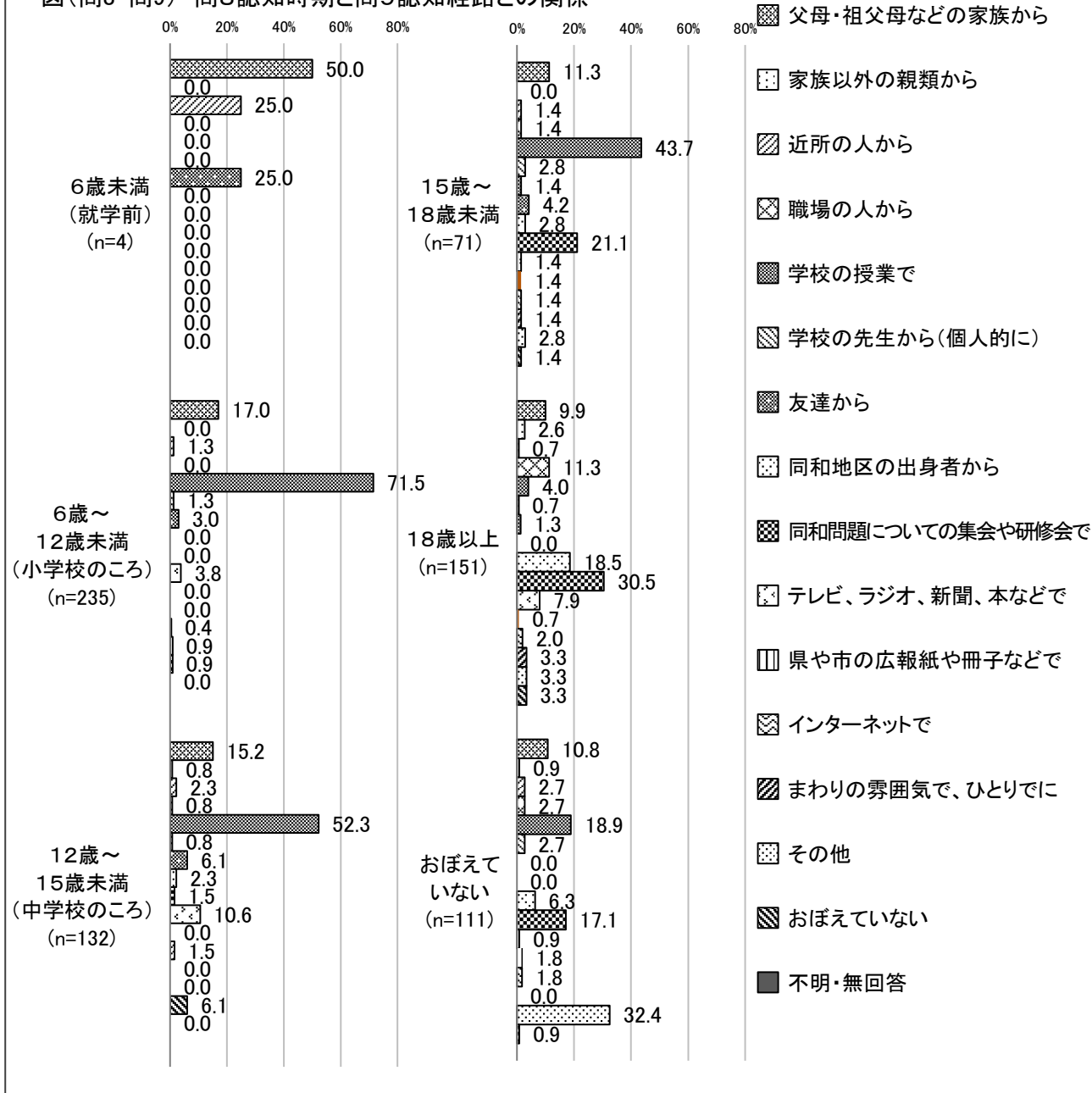
どの職業においても、認知経路として高いのは「学校の授業で」であるが、「自営業、農業、漁業」、「無職」においては、この割合が他の職業と比べると低く、その分、多様な経路での認知になっている。

4) 問8 同和問題(部落差別)の認知時期と問9 同和問題(部落差別)の認知経路との関係

上段:実数(人) 下段:比率(%)

問9		回 答 数	父 母 の 家 族 か ら	家 族 以 外 の 親 類 か ら	近 所 の 人 か ら	職 場 の 人 か ら	学 校 の 授 業 で	学 校 の 先 生 か ら (個 人 的 に)	友 達 か ら	同 和 地 区 の 出 身 者 か ら
全 体		704	97	6	12	22	295	10	19	6
		100.0	13.8	0.9	1.7	3.1	41.9	1.4	2.7	0.9
問 8 認 知 時 期	6歳未満(就学前)	4	2	0	1	0	0	0	1	0
		100.0	50.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0
	6歳～12歳未満 (小学校のころ)	235	40	0	3	0	168	3	7	0
		100.0	17.0	0.0	1.3	0.0	71.5	1.3	3.0	0.0
	12歳～15歳未満 (中学校のころ)	132	20	1	3	1	69	1	8	3
		100.0	15.2	0.8	2.3	0.8	52.3	0.8	6.1	2.3
	15歳～18歳未満	71	8	0	1	1	31	2	1	3
		100.0	11.3	0.0	1.4	1.4	43.7	2.8	1.4	4.2
18歳以上	151	15	4	1	17	6	1	2	0	
	100.0	9.9	2.6	0.7	11.3	4.0	0.7	1.3	0.0	
おぼえていない	111	12	1	3	3	21	3	0	0	
	100.0	10.8	0.9	2.7	2.7	18.9	2.7	0.0	0.0	
問9		研 修 会 で の 集 会 や	本 ラ テ ジ レ ど オ ビ で 、 新 聞 、	や 県 冊 や 子 市 な の 広 で 報 紙	で イ ン タ ー ネ ッ ト	で ま 、 わ ひ り と の 雰 で 囲 に 気	そ の 他	お ぼ え て い な い	不 明 ・ 無 回 答	
全 体		39	103	14	6	7	8	53	7	
		5.5	14.6	2.0	0.9	1.0	1.1	7.5	1.0	
問 8 認 知 時 期	6歳未満(就学前)	0	0	0	0	0	0	0	0	
		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	6歳～12歳未満 (小学校のころ)	0	9	0	0	1	2	2	0	
		0.0	3.8	0.0	0.0	0.4	0.9	0.9	0.0	
	12歳～15歳未満 (中学校のころ)	2	14	0	2	0	0	8	0	
		1.5	10.6	0.0	1.5	0.0	0.0	6.1	0.0	
	15歳～18歳未満	2	15	1	1	1	1	2	1	
		2.8	21.1	1.4	1.4	1.4	1.4	2.8	1.4	
18歳以上	28	46	12	1	3	5	5	5		
	18.5	30.5	7.9	0.7	2.0	3.3	3.3	3.3		
おぼえていない	7	19	1	2	2	0	36	1		
	6.3	17.1	0.9	1.8	1.8	0.0	32.4	0.9		

図(問8-問9) 問8認知時期と問9認知経路との関係



認知経路を「学校の授業で」とした回答は、認知時期「6歳～12歳未満(小学校のころ)」71.5%が最も高く、次いで「12歳～15歳未満(中学校のころ)」52.3%、「15歳～18歳未満」43.7%となっている。

認知時期で見ると、「6歳未満」では、「父母・祖父母などの家族」50.0%が最も高く、次いで「近所の人」「友達から」が同じく25.0%になっている。

「18歳以上」では、「同和问题の集会で」が30.5%、次いで「同和地区出身者から」と当事者との出会いからが18.5%ある。

問10 同和問題（部落差別）に関して、人権が尊重されていない事項

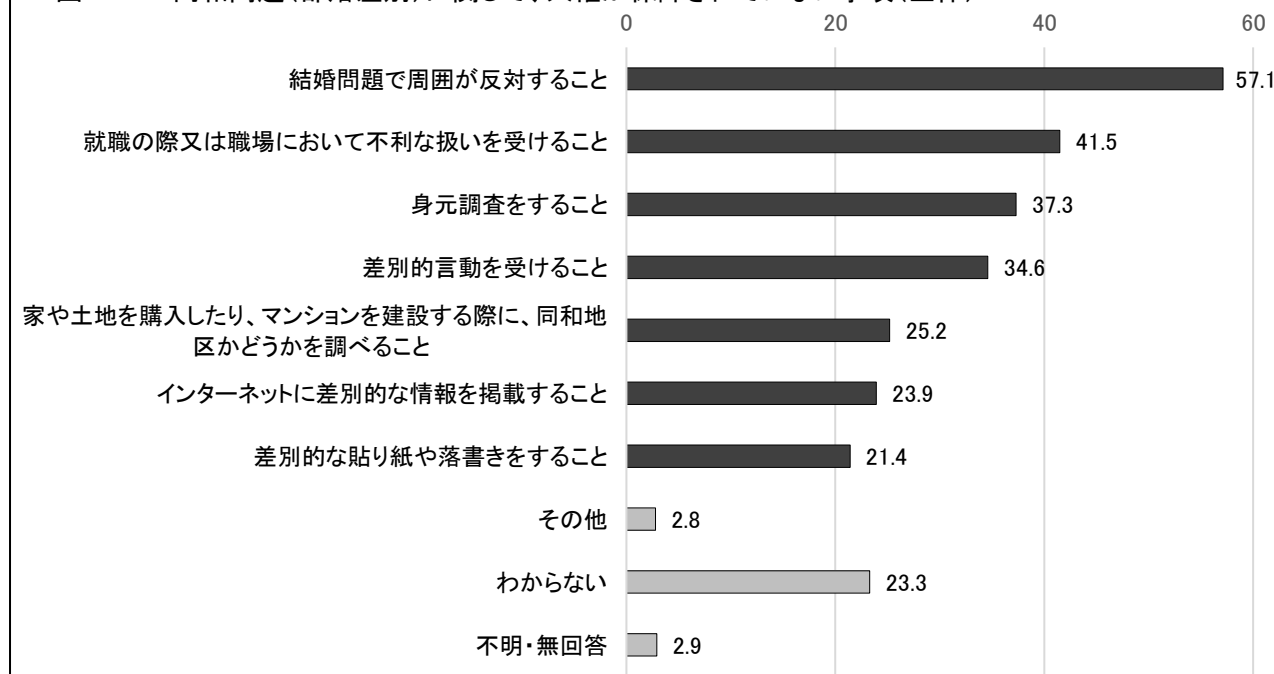
同和問題（部落差別）に関する次のことがらについて、人権がとくに尊重されていないと思うのはどのようなことですか。（該当するすべてに○）

1) 全体及び性別特徴

上段:実数(人) 下段:比率(%)													
問10		回答数	結婚問題で周囲が反対 すること	就職の際又は職場において不利な扱いを受けること	差別的言動を受けること	差別的な貼り紙や落書きをすること	身元調査をすること	インターネットに差別的な情報を掲載すること	どうにかを調べることに同和地区建設	家や土地を購入したり、マンションを建設する際に、同和地区かどうかを調べることに	その他	わからない	不明・無回答
全 体		790	451	328	273	169	295	189	199	22	184	23	
		100.0	57.1	41.5	34.6	21.4	37.3	23.9	25.2	2.8	23.3	2.9	
性 別	男 性	348	187	135	114	70	122	79	99	14	89	6	
		100.0	53.7	38.8	32.8	20.1	35.1	22.7	28.4	4.0	25.6	1.7	
	女 性	421	255	186	155	94	170	106	98	7	91	13	
		100.0	60.6	44.2	36.8	22.3	40.4	25.2	23.3	1.7	21.6	3.1	
	その他	3	1	1	0	1	1	1	1	0	1	1	
		100.0	33.3	33.3	0.0	33.3	33.3	33.3	33.3	0.0	33.3	33.3	
	不明・無回答	18	8	6	4	4	2	3	1	1	3	3	
		100.0	44.4	33.3	22.2	22.2	11.1	16.7	5.6	5.6	16.7	16.7	

性別による特段の差異はない。

図10-1 同和問題（部落差別）に関して、人権が保障されていない事項（全体）

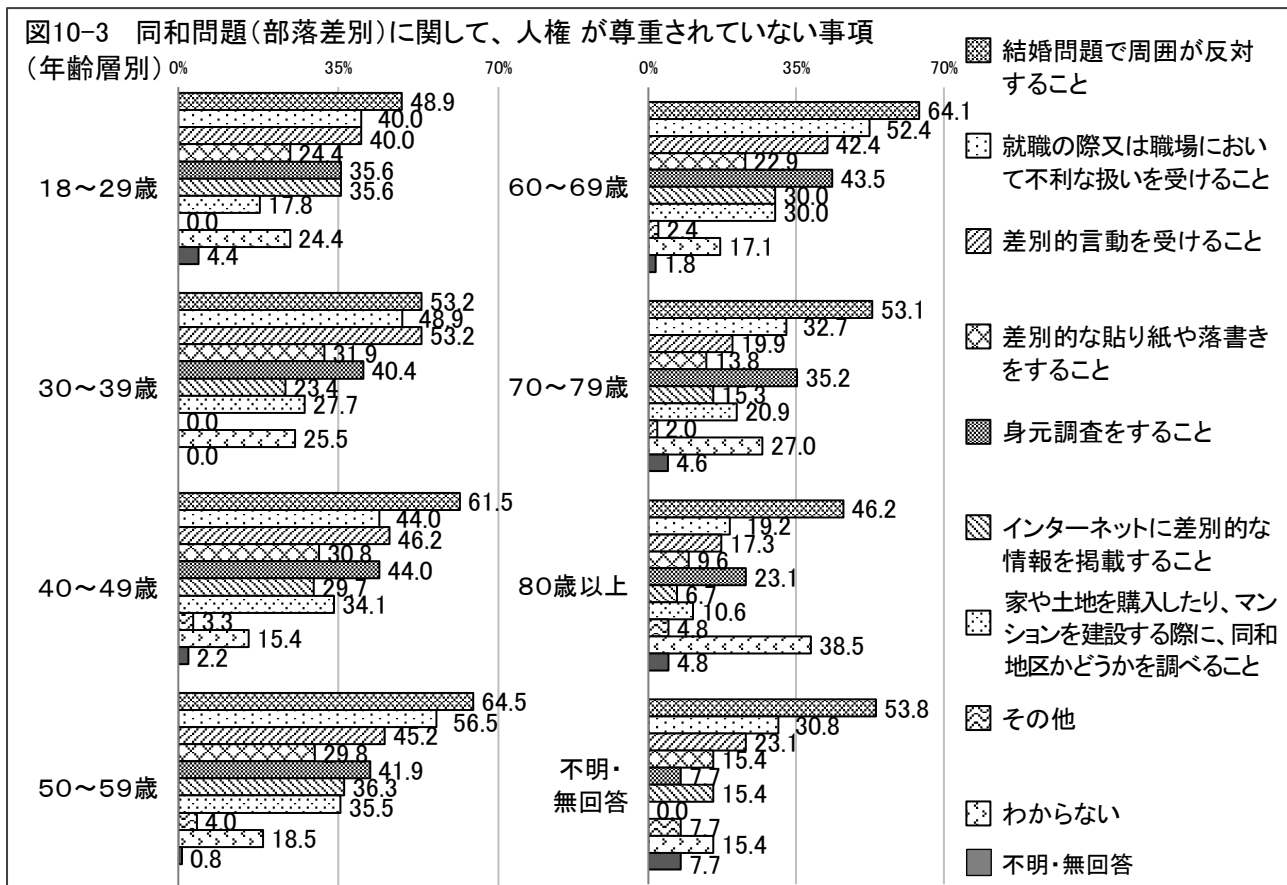


「結婚問題で周囲が反対すること」57.1%が最も高く、次いで「就職の際または職場において不利な扱いを受けること」41.5%、「身元調査をすること」37.3%、「差別的な言動を受けること」34.6%、「家や土地を購入したり、マンションを建設する際に、同和地区かどうかを調べる」25.2%の順になっている。

2) 年齢層別特徴

上段:実数(人) 下段:比率(%)

問10		回答数	結婚問題で周囲が反対	受けること	就職の際又は職場において不利な扱いを受けること	差別的言動を受けること	差別的な貼り紙や落書きをすること	身元調査をすること	インターネットに差別的な情報を掲載すること	どうするかを調べる	り、マンションを建設する際に、同和地区かどうかを調べる	家や土地を購入したり、マンションを建設する際に、同和地区かどうかを調べる	その他	わからない	不明・無回答
年齢層別	全 体	790	451	328	273	169	295	189	199	22	184	23			
		100.0	57.1	41.5	34.6	21.4	37.3	23.9	25.2	2.8	23.3	2.9			
	18～29歳	45	22	18	18	11	16	16	8	0	11	2			
		100.0	48.9	40.0	40.0	24.4	35.6	35.6	17.8	0.0	24.4	4.4			
	30～39歳	47	25	23	25	15	19	11	13	0	12	0			
		100.0	53.2	48.9	53.2	31.9	40.4	23.4	27.7	0.0	25.5	0.0			
	40～49歳	91	56	40	42	28	40	27	31	3	14	2			
		100.0	61.5	44.0	46.2	30.8	44.0	29.7	34.1	3.3	15.4	2.2			
	50～59歳	124	80	70	56	37	52	45	44	5	23	1			
		100.0	64.5	56.5	45.2	29.8	41.9	36.3	35.5	4.0	18.5	0.8			
年齢層別	60～69歳	170	109	89	72	39	74	51	51	4	29	3			
		100.0	64.1	52.4	42.4	22.9	43.5	30.0	30.0	2.4	17.1	1.8			
	70～79歳	196	104	64	39	27	69	30	41	4	53	9			
		100.0	53.1	32.7	19.9	13.8	35.2	15.3	20.9	2.0	27.0	4.6			
	80歳以上	104	48	20	18	10	24	7	11	5	40	5			
		100.0	46.2	19.2	17.3	9.6	23.1	6.7	10.6	4.8	38.5	4.8			
	不明・無回答	13	7	4	3	2	1	2	0	1	2	1			
		100.0	53.8	30.8	23.1	15.4	7.7	15.4	0.0	7.7	15.4	7.7			



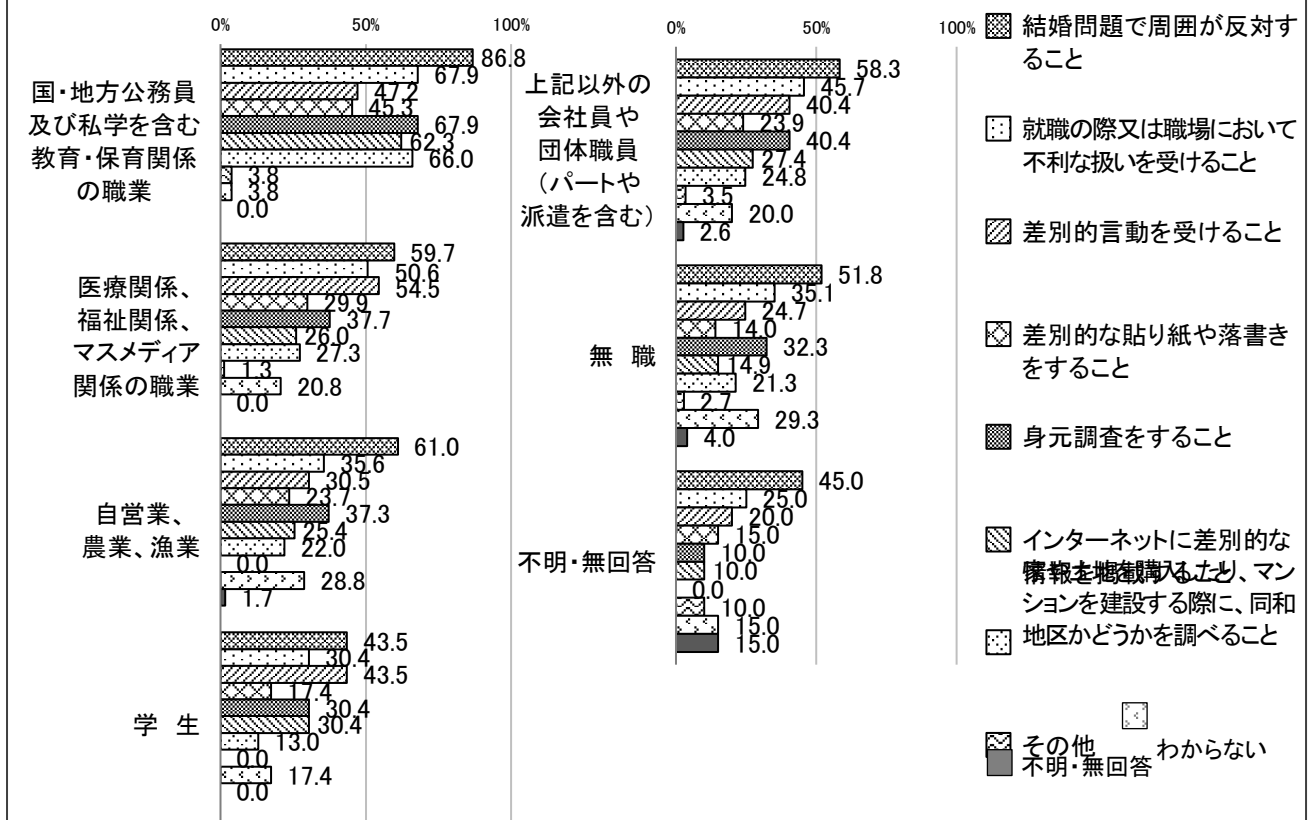
「結婚問題で周囲が反対すること」、「差別的な言動を受けること」、「就職の際または職場において不利な扱いを受けること」が上位にきているが、年齢による特段の差異はない。

3) 職業別特徴

上段:実数(人) 下段:比率(%)

問10	回答数	結婚問題で周囲が反対すること	就職の際又は職場において不利な扱いを受けること	差別的言動を受けること	差別的な貼り紙や落書きをすること	身元調査をすること	インターネットに差別的な情報を掲載すること	地区かどうかを調べることに、同和	家や土地を購入したり、マンションを建設する際に、同和	その他	わからない	不明・無回答
全 体	790 100.0	451 57.1	328 41.5	273 34.6	169 21.4	295 37.3	189 23.9	199 25.2	22 2.8	184 23.3	23 2.9	
職 業	国・地方公務員及び私学を含む教育・保育関係の職業	53 100.0	46 86.8	36 67.9	25 47.2	24 45.3	36 67.9	33 62.3	35 66.0	2 3.8	2 3.8	0 0.0
	医療関係、福祉関係、マスメディア関係の職業	77 100.0	46 59.7	39 50.6	42 54.5	23 29.9	29 37.7	20 26.0	21 27.3	1 1.3	16 20.8	0 0.0
	自営業、農業、漁業	59 100.0	36 61.0	21 35.6	18 30.5	14 23.7	22 37.3	15 25.4	13 22.0	0 0.0	17 28.8	1 1.7
	学 生	23 100.0	10 43.5	7 30.4	10 43.5	4 17.4	7 30.4	7 30.4	3 13.0	0 0.0	4 17.4	0 0.0
	上記以外の会社員や団体職員(パートや派遣を含む)	230 100.0	134 58.3	105 45.7	93 40.4	55 23.9	93 40.4	63 27.4	57 24.8	8 3.5	46 20.0	6 2.6
	無 職	328 100.0	170 51.8	115 35.1	81 24.7	46 14.0	106 32.3	49 14.9	70 21.3	9 2.7	96 29.3	13 4.0
	不明・無回答	20 100.0	9 45.0	5 25.0	4 20.0	3 15.0	2 10.0	2 10.0	0 0.0	2 10.0	3 15.0	3 15.0

図10-4 同和問題(部落差別)に関して、人権が尊重されていない事項(職業別)



「国・地方公務員及び私学を含む教育・保育関係の職業」の、「身元調査をすること」や「インターネットに差別的な情報を記載すること」、「家や土地の購入」などについての認識が高い。

問11 同和問題（部落差別）と自分との関わり

同和問題（部落差別）の解消に向けたあなたの考えとして最も近いものは、次のどれですか（1つに○）

1）全体及び性別特徴

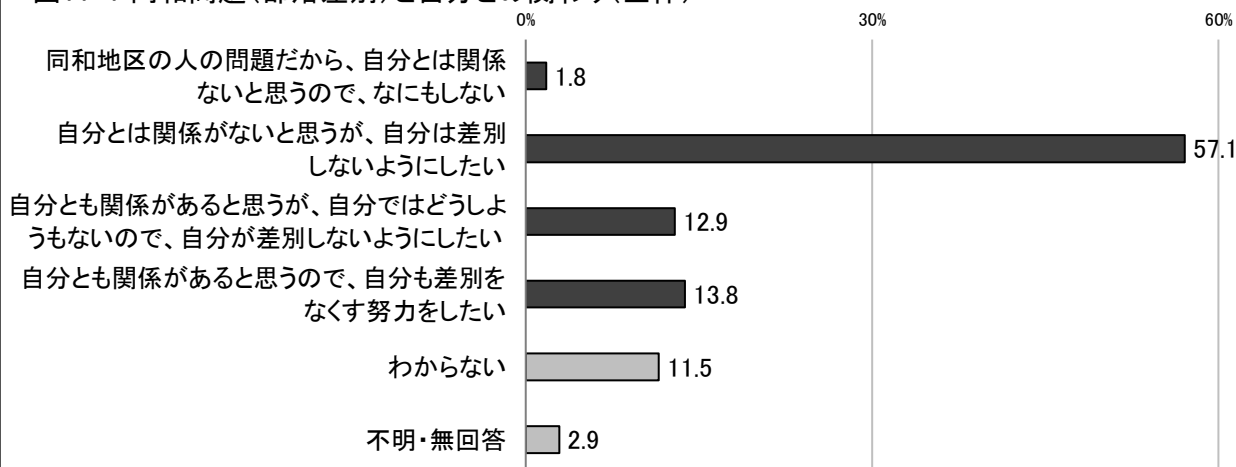
		実数(人) 下段: 比率(%)							
問11	回答数	同和地区の問題だから、自分とは関係ないと思うので、なにもしない	自分とは関係ないと思うが、自分は差別しないようにしたい	自分とも関係があると思うが、自分ではどうしようもないので、自分が差別しないようにしたい	自分とも関係があると思うので、自分も差別をなくす努力をしたい	わからない	不明・無回答	自分とは関係がない	自分とも関係がある
全 体	790	14	451	102	109	91	23	465	211
	100.0	1.8	57.1	12.9	13.8	11.5	2.9	58.9	26.7
	348	6	202	40	56	37	7	208	96
	100.0	1.7	58.0	11.5	16.1	10.7	2.0	59.7	27.6
	421	8	238	60	50	52	13	246	110
	100.0	1.9	56.5	14.3	11.9	12.4	3.0	58.4	26.2
	3	0	1	0	1	0	1	1	1
性 別	100.0	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	33.3	33.3	33.3
	18	0	10	2	2	2	2	10	4
	100.0	0.0	55.6	11.1	11.1	11.1	11.1	55.6	22.2

* 自分とは関係がない・・・「同和地区の人の問題だから、自分とは関係ないと思うので、なにもしない」と「自分とは関係がないと思うが、自分は差別しないようにしたい」の合計

* 自分とも関係がある・・・「自分とも関係があると思うが、自分ではどうしようもないので、自分が差別しないようにしたい」と「自分とも関係があると思うので、自分も差別をなくす努力をしたい」の合計

性別による特段の差異はない。

図11-1 同和問題（部落差別）と自分との関わり(全体)



「自分とは関係ないと思うが、自分は差別しないようにしたい」が 57.1%(H25_56.2%)で最も高く、「同和地区の問題だから、自分とは関係ないと思うので何もしない」1.8%(H25_1.7%)を合わせると、「自分とは関係ない」とする回答は、58.9%になる。

一方、「自分とも関係があると思うので、自分も差別をなくす努力をしたい」13.8%(H25_14.0%)、「自分とも関係があると思うが、自分ではどうしようもないので、自分が差別しないようにしたい」12.9%(H25_11.4%)で、「自分とも関係ある」とする回答は、合わせて 26.7%である。

2) 年齢層別特徴

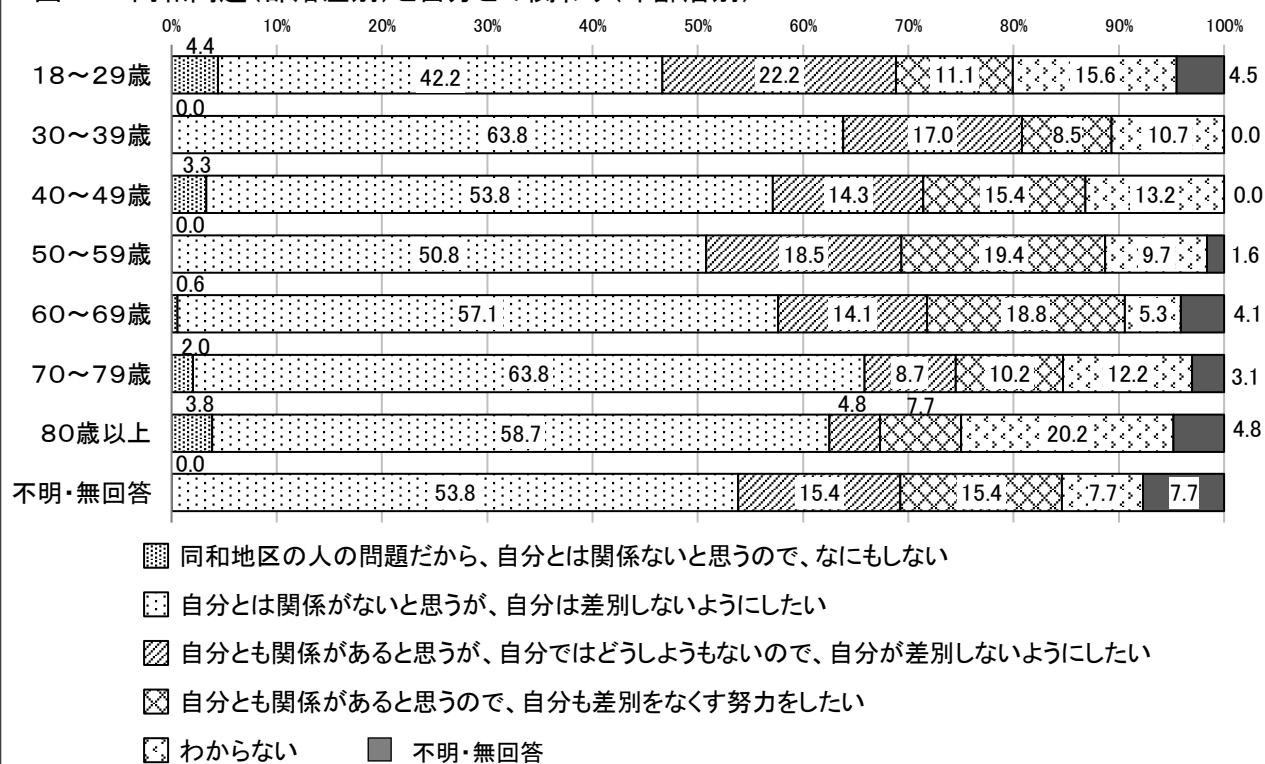
上段: 実数(人) 下段: 比率(%)

問11	回答数	同和地区の人の問題だから、自分とは関係ないと思うので、なにもしない	自分とは関係がないと思うが、自分は差別しないようにしたい	自分とも関係があると思うが、自分ではどうしようもないので、自分が差別しないようにしたい	自分とも関係があると思うので、自分も差別をなくす努力をしたい	わからない	不明・無回答	自分とは関係がない	自分とも関係がある
全 体	790	14	451	102	109	91	23	465	211
	100.0	1.8	57.1	12.9	13.8	11.5	2.9	58.9	26.7
年 齢	18～29歳	45	2	19	10	5	7	21	15
		100.0	4.4	42.2	22.2	11.1	15.6	46.6	33.3
	30～39歳	47	0	30	8	4	5	30	12
		100.0	0.0	63.8	17.0	8.5	10.7	63.8	25.5
	40～49歳	91	3	49	13	14	12	52	27
		100.0	3.3	53.8	14.3	15.4	13.2	57.1	29.7
	50～59歳	124	0	63	23	24	12	63	47
		100.0	0.0	50.8	18.5	19.4	9.7	50.8	37.9
	60～69歳	170	1	97	24	32	9	98	56
		100.0	0.6	57.1	14.1	18.8	5.3	57.7	32.9
	70～79歳	196	4	125	17	20	24	129	37
		100.0	2.0	63.8	8.7	10.2	12.2	65.8	18.9
	80歳以上	104	4	61	5	8	21	65	13
		100.0	3.8	58.7	4.8	7.7	20.2	62.5	12.5
	不明・無回答	13	0	7	2	2	1	7	4
		100.0	0.0	53.8	15.4	15.4	7.7	53.8	30.8

* 自分とは関係がない・・・「同和地区の人の問題だから、自分とは関係ないと思うので、なにもしない」と「自分とは関係がないと思うが、自分は差別しないようにしたい」の合計

* 自分とも関係がある・・・「自分とも関係があると思うが、自分ではどうしようもないので、自分が差別しないようにしたい」と「自分とも関係があると思うので、自分も差別をなくす努力をしたい」の合計

図11-3 同和问题(部落差別)と自分との関わり(年齢層別)



「18～29歳」の42.2%を除き、どの年齢層においても、5割から6割強の人たちが、「同和问题は自分とは関係ない」と回答している。

3) 職業別特徴

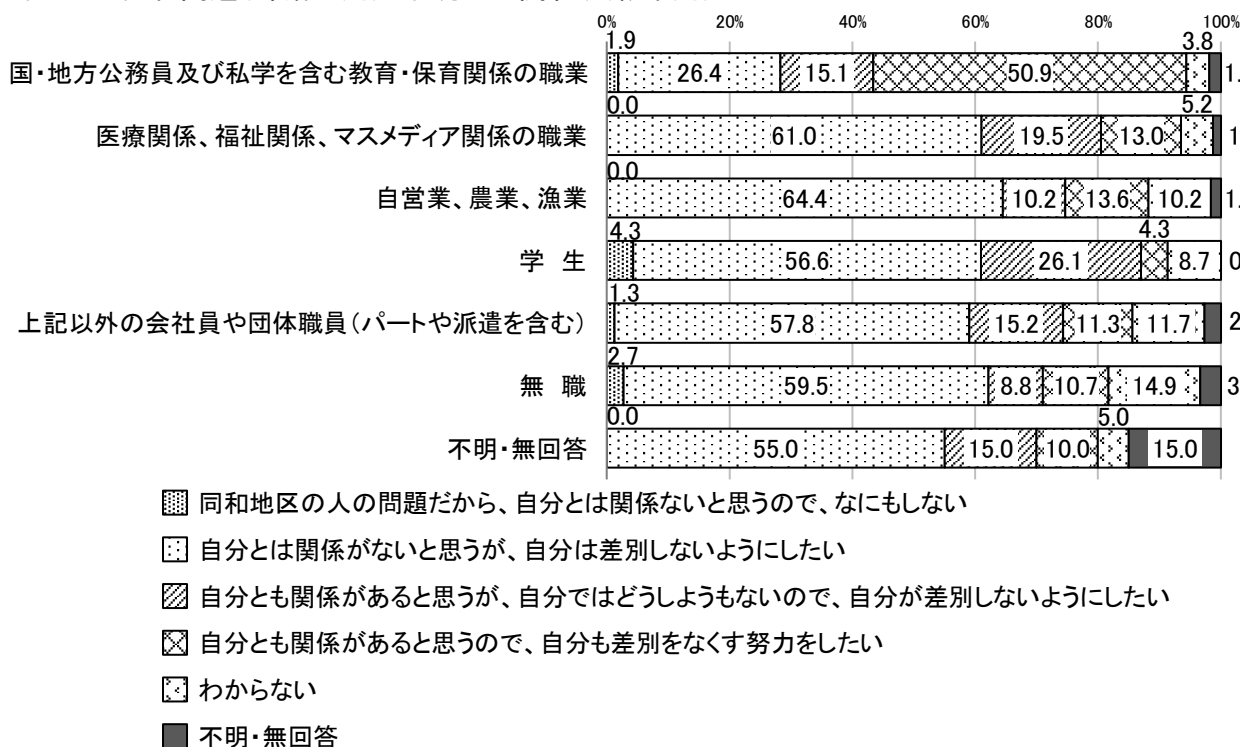
上段:実数(人) 下段:比率(%)

問11	回答数	同和地区の人の問題だから、自分とは関係ないと思うので、なにもしない	自分とは関係がないと思うが、自分は差別しないようにしたい	自分とも関係があると思うが、自分ではどうしようもないので、自分が差別しないようにしたい	自分とも関係があると思うので、自分も差別をなくす努力をしたい	わからない	不明・無回答	自分とは関係がない	自分とも関係がある
全 体	790	14	451	102	109	91	23	465	211
	100.0	1.8	57.1	12.9	13.8	11.5	2.9	58.9	26.7
職 業	国・地方公務員及び私学を含む教育・保育関係の職業	53	14	8	27	2	1	15	35
		100.0	1.9	26.4	15.1	50.9	3.8	1.9	28.3
	医療関係、福祉関係、マスメディア関係の職業	77	0	47	15	10	4	1	47
		100.0	0.0	61.0	19.5	13.0	5.2	1.3	61.0
	自営業、農業、漁業	59	0	38	6	8	6	1	38
		100.0	0.0	64.4	10.2	13.6	10.2	1.6	64.4
	学 生	23	1	13	6	1	2	0	14
		100.0	4.3	56.6	26.1	4.3	8.7	0.0	60.9
	上記以外の会社員や団体職員(パートや派遣を含む)	230	3	133	35	26	27	6	136
		100.0	1.3	57.8	15.2	11.3	11.7	2.7	59.1
業	無 職	328	9	195	29	35	49	11	204
		100.0	2.7	59.5	8.8	10.7	14.9	3.4	62.2
	不明・無回答	20	0	11	3	2	1	3	11
		100.0	0.0	55.0	15.0	10.0	5.0	15.0	55.0

* 自分とは関係がない・・・「同和地区の人の問題だから、自分とは関係ないと思うので、なにもしない」と「自分とは関係がないと思うが、自分は差別しないようにしたい」の合計

* 自分とも関係がある・・・「自分とも関係があると思うが、自分ではどうしようもないので、自分が差別しないようにしたい」と「自分とも関係があると思うので、自分も差別をなくす努力をしたい」の合計

図11-4 同和问题(部落差別)と自分との関わり(職業別)



「国・地方公務員及び私学を含む教育・保育関係の職業」が、「自分とも関係があると思うので、自分も差別をなくす努力をしたい」50.9%と、他の職業と比較して極めて高い。

4) 問1 人権問題についての関心と 問11 同和問題（部落差別）と自分との関わり

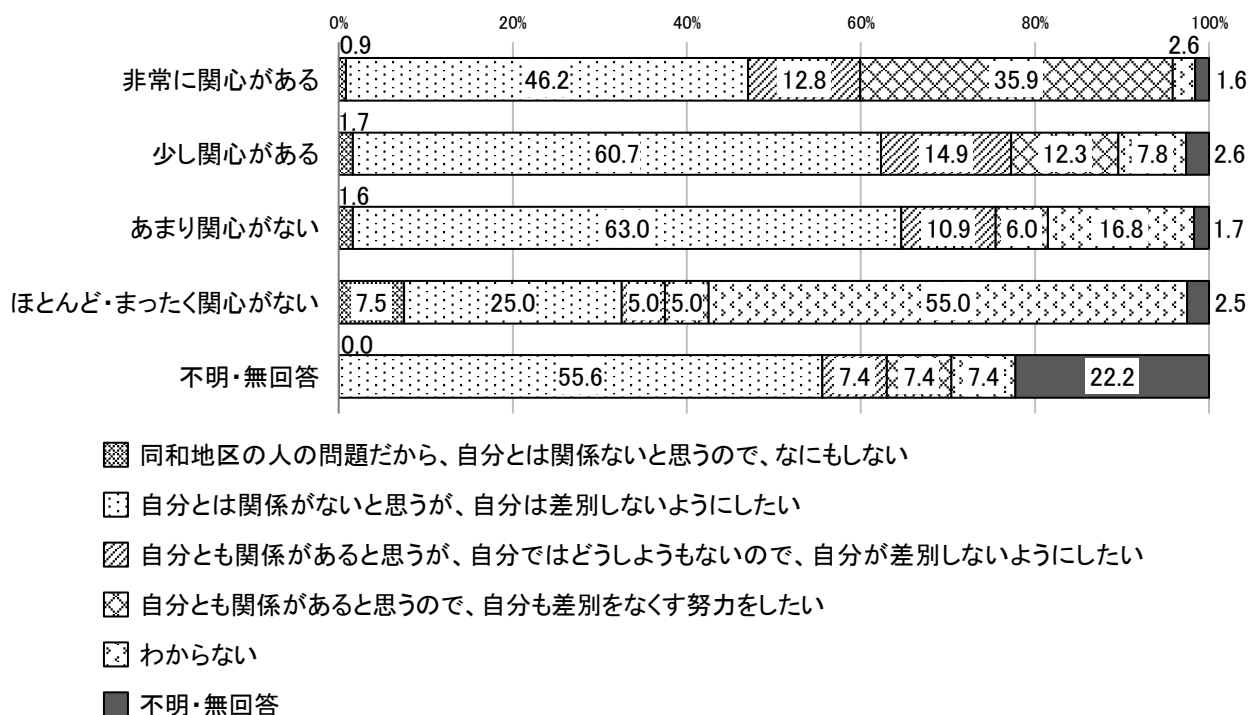
上段:実数(人) 下段:比率(%)

問11		回答数	同和地区の人の問題だから、自分とは関係ないと思うので、なにもしない	自分とは関係がないと思うが、自分は差別しないようにしたい	自分とも関係があると思うが、自分ではどうしようもないので、自分が差別しないようにしたい	自分とも関係があると思うので、自分も差別をなくす努力をしたい	わからない	不明・無回答	自分とは関係がない	自分とも関係がある
問1 人権問題 について の関心	全 体	790	14	451	102	109	91	23	465	211
		100.0	1.8	57.1	12.9	13.8	11.5	2.9	58.9	26.7
	非常に関心がある	117	1	54	15	42	3	2	55	57
		100.0	0.9	46.2	12.8	35.9	2.6	1.6	47.1	48.7
	少し関心がある	422	7	256	63	52	33	11	263	115
		100.0	1.7	60.7	14.9	12.3	7.8	2.6	62.4	27.2
	あまり関心がない	184	3	116	20	11	31	3	119	31
		100.0	1.6	63.0	10.9	6.0	16.8	1.7	64.6	16.9
	ほとんど・まったく関心がない	40	3	10	2	2	22	1	13	4
		100.0	7.5	25.0	5.0	5.0	55.0	2.5	32.5	10.0
	不明・無回答	27	0	15	2	2	2	6	15	4
		100.0	0.0	55.6	7.4	7.4	7.4	22.2	55.6	14.8

* 自分とは関係がない・・・「同和地区の人の問題だから、自分とは関係ないと思うので、なにもしない」と「自分とは関係がないと思うが、自分は差別しないようにしたい」の合計

* 自分とも関係がある・・・「自分とも関係があると思うが、自分ではどうしようもないので、自分が差別しないようにしたい」と「自分とも関係があると思うので、自分も差別をなくす努力をしたい」の合計

図(問1－問11) 問1人権問題についての関心と
問11同和問題（部落差別）と自分との関わりとの関係



人権問題に「非常に関心がある」と回答した人は、「差別をなくす努力をしたい」が 35.9%と高いが、「ほとんど・まったく関心がない」と回答した人は、「わからない」と 55.0%が回答している。

問12 同和問題（部落差別）の解決方法

同和問題（部落差別）を解消するには、どうしたらよいと考えますか。（該当するすべてに

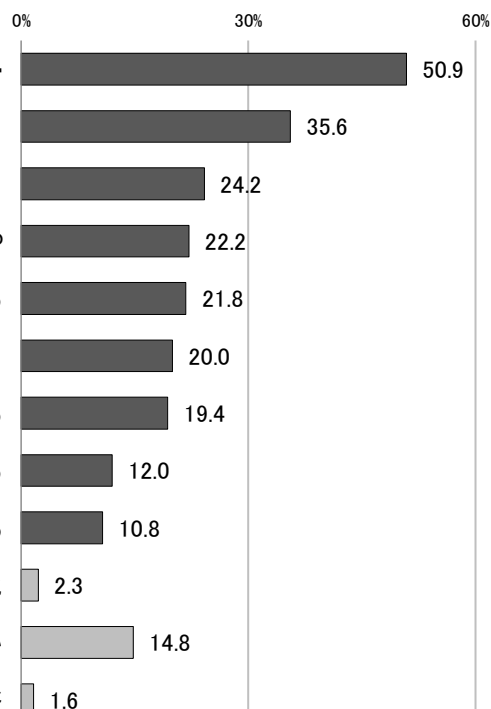
1）全体及び性別特徴

上段:実数(人) 下段:比率(%)														
問12		回答数	インターネット上などでの偏見や差別的な書き込みを、そのまま受け入れないようにする	同和地区の生活環境を改善・整備する	同和地区の人々の仕事を保障し、教育水準を高め、生活の向上をはかる	同和地区の人々自身が、差別の解消に向けて努力する	市民一人ひとりが互いに交流する	学校教育・社会教育を通じて、差別をなくし、人権を大切にすると教育活動・啓発活動を積極的に行う	差別をしたり、差別を営利目的などに使ったりする者を、法律で処罰する	同和地区の人々が、かたまって住まないようにする	同和地区のことや差別のことなど口に出さないで、そっとしておけば自然になくなる	その他	わからない	不明・無回答
全 体		790 100.0	281 35.6	153 19.4	175 22.2	85 10.8	172 21.8	402 50.9	191 24.2	95 12.0	158 20.0	18 2.3	117 14.8	13 1.6
性別	男 性	348 100.0	109 31.3	67 19.3	73 21.0	38 10.9	81 23.3	170 48.9	99 28.4	45 12.9	75 21.6	12 3.4	48 13.8	5 1.4
	女 性	421 100.0	164 39.0	83 19.7	99 23.5	45 10.7	83 19.7	223 53.0	89 21.1	47 11.2	80 19.0	6 1.4	67 15.9	7 1.7
	その他	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	1 33.3	1 33.3	0 0.0	2 66.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	不明・無回答	18 100.0	8 44.4	3 16.7	3 16.7	2 11.1	7 38.9	8 44.4	2 11.1	3 16.7	1 5.6	0 0.0	2 11.1	1 5.6

性別による特段の差異はない。

図12-1 同和問題（部落差別）の解決方法（全体）

学校教育・社会教育を通じて、差別をなくし、人権を大切にする教育活動・啓発活動を積極的に行う
インターネット上などでの偏見や差別的な書き込みを、そのまま受け入れないようにする
差別をしたり、差別を営利目的などに使ったりする者を、法律で処罰する
同和地区の人々の仕事を保障し、教育水準を高め、生活の向上をはかる
市民一人ひとりが互いに交流する
同和地区のことや差別のことなど口に出さないで、そっとしておけば自然になくなる
同和地区の生活環境を改善・整備する
同和地区の人々が、かたまって住まないようにする
同和地区の人々自身が、差別の解消に向けて努力する
その他
わからない
不明・無回答



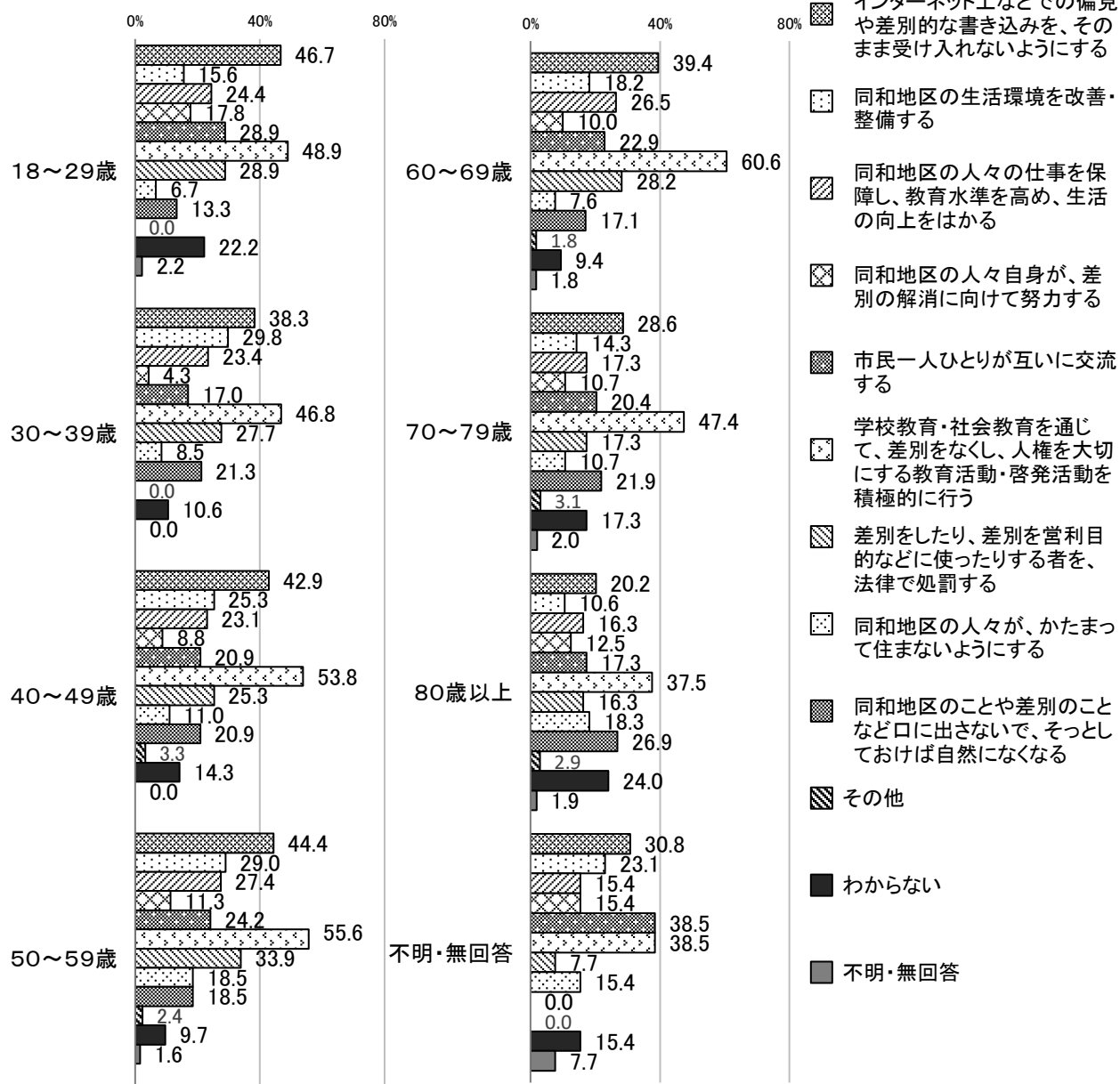
「学校教育・社会教育を通じて差別をなくし、人権を大切にする教育活動・啓発活動を積極的に行う」が50.9%で最も高く、前回(H25_44.2%)よりも約7ポイント高くなっている。次いで「インターネット上での偏見や差別的な書き込みを、そのまま受け入れないようにする」35.6%、「差別をしたり、差別を営利目的などに使ったりする者を法律で処罰する」24.2%(H25_17.8%)の順になっている。

一方、いわゆる「寝た子を起こすな」論にあたる「そっとしておけば自然になくなる」の回答は20.0%で、前回(H25_24.0%)よりも4ポイント低下している。また、「同和地区の人々自身が、差別の解消に向けて努力する」が10.8%で前回(H25_21.6%)と比べて10.8ポイント、「同和地区の人々が、かたまって住まないようにする」が12.0%(H25_14.6%)で、2.6ポイント低下している。

2) 年齢層別特徴

		上段:実数(人) 下段:比率(%)					
問12	回答数	インターネット上の偏見や差別的な書き込みを、そのまま受け入れないようにする	同和地区の生活環境を改善・整備する	同和地区の人々の仕事、保障、生活、教育水準を高める	同和地区の人々自身が、差別の解消に向けて努力する	市民一人ひとりが互いに交流する	学校教育・社会教育を通じて、差別をなくし、人権を大切にする教育活動・啓発活動を積極的に行う
年 齢	全 体	790 100.0	281 35.6	153 19.4	175 22.2	85 10.8	172 21.8
	18～29歳	45 100.0	21 46.7	7 15.6	11 24.4	8 17.8	13 28.9
	30～39歳	47 100.0	18 38.3	14 29.8	11 23.4	2 4.3	8 17.0
	40～49歳	91 100.0	39 42.9	23 25.3	21 23.1	8 8.8	19 20.9
	50～59歳	124 100.0	55 44.4	36 29.0	34 27.4	14 11.3	30 24.2
	60～69歳	170 100.0	67 39.4	31 18.2	45 26.5	17 10.0	39 22.9
	70～79歳	196 100.0	56 28.6	28 14.3	34 17.3	21 10.7	40 20.4
	80歳以上	104 100.0	21 20.2	11 10.6	17 16.3	13 12.5	18 17.3
	不明・無回答	13 100.0	4 30.8	3 23.1	2 15.4	2 15.4	5 38.5
問12	るす営差 る利別 者目をし を的た をなり 、ど 法律に で使 処つ 罰別 をを すす	にか同 す和 るた地 るま区 のの 住人 ま々 ない よう	自でこ同 然、と和 になど地 くそ区 るとな る口 のこ しと て お け さ や な 差 別 の	そ 他	わ か ら な い	不 明 ・ 無 回 答	
年 齢	全 体	191 24.2	95 12.0	158 20.0	18 2.3	117 14.8	13 1.6
	18～29歳	13 28.9	3 6.7	6 13.3	0 0.0	10 22.2	1 2.2
	30～39歳	13 27.7	4 8.5	10 21.3	0 0.0	5 10.6	0 0.0
	40～49歳	23 25.3	10 11.0	19 20.9	3 3.3	13 14.3	0 0.0
	50～59歳	42 33.9	23 18.5	23 18.5	3 2.4	12 9.7	2 1.6
	60～69歳	48 28.2	13 7.6	29 17.1	3 1.8	16 9.4	3 1.8
	70～79歳	34 17.3	21 10.7	43 21.9	6 3.1	34 17.3	4 2.0
	80歳以上	17 16.3	19 18.3	28 26.9	3 2.9	25 24.0	2 1.9
	不明・無回答	1 7.7	2 15.4	0 0.0	0 0.0	2 15.4	1 7.7

図12-3 同和問題(部落差別)の解決方法(年齢層別)



幅広い年齢層において、「学校教育・社会教育を通じて、差別をなくし、人権を大切にする教育活動・啓発活動を積極的に行う」、「インターネット上などでの偏見や差別的な書き込みを、そのまま受け入れないようにする」が上位にきている。次いで「同和地区の人々の仕事を保障し、教育水準を高め、生活の向上を図る」、「差別をしたり、差別を営利目的などに使ったりするものを、法律で処罰する」が高くなっている。

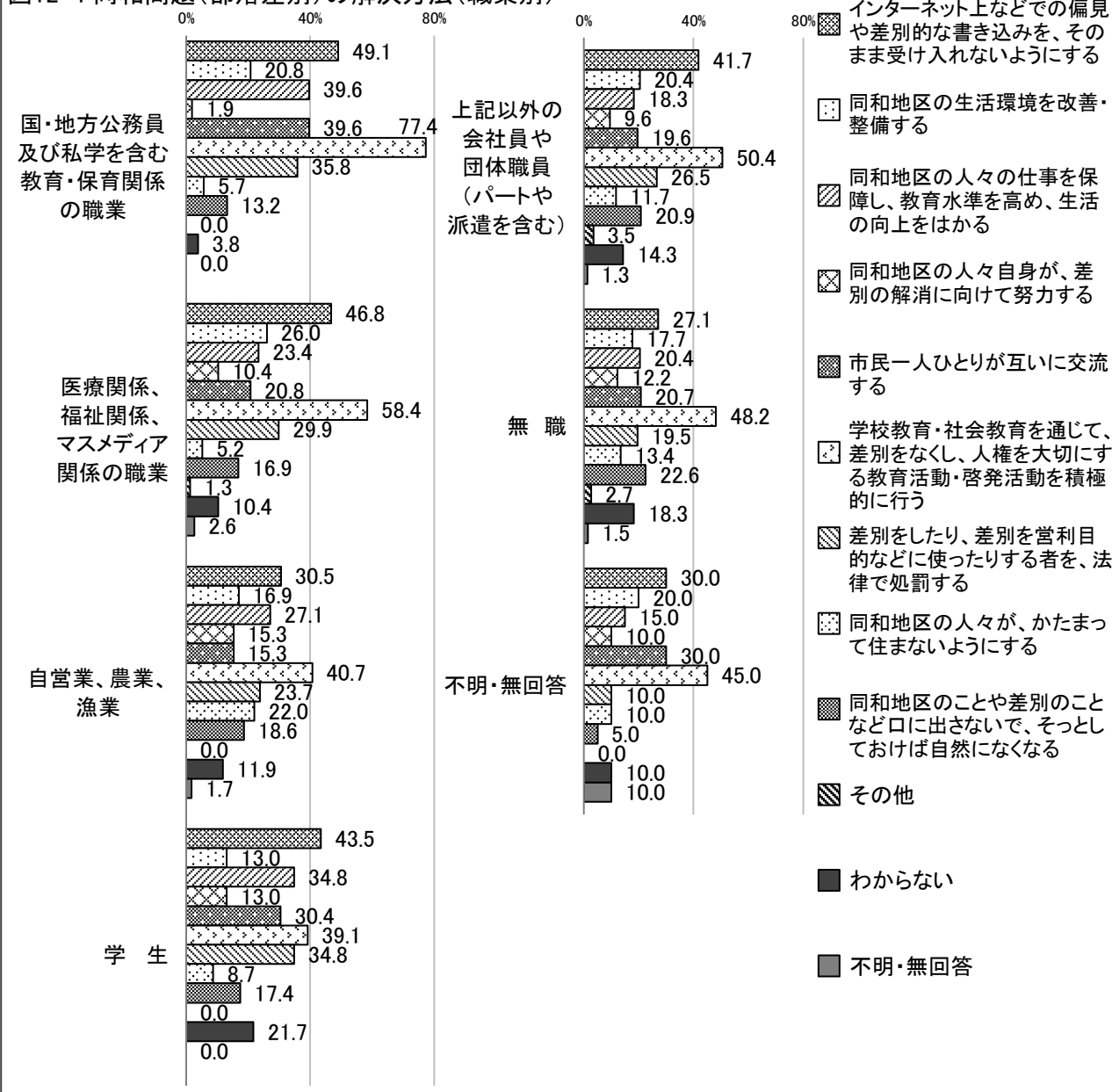
一方、70歳以上の高齢者においては、他の年齢層に比べて「同和地区のことや差別のことなど口に出さないで、そっとしておけば自然になくなる」が高くなっている。

3) 職業別特徴

上段:実数(人) 下段:比率(%)

問12		回答数	よを偏イン う、見やター にその差別ネ するま別のッ 受け書上な 入れ込みで ないの	・同 整和地 備区 する の生 活環 境を 改善	生保同 活障和 のし地 向、区 上、教 を育人 をは水々 かる準の 仕高事 めを、	す差同 る別の の地 解区 消の 向人々 けて自 身が 力、	交市 流民 する一人 ひと りが 互いに	活大て 動切、校 をに差 積する 極るを 的なく に教育 ・社会 啓動教 ・育を 権通 発を じ
全 体		790	281	153	175	85	172	402
		100.0	35.6	19.4	22.2	10.8	21.8	50.9
職 業	国・地方公務員及び私学を含む教育・保育関係の職業	53	26	11	21	1	21	41
		100.0	49.1	20.8	39.6	1.9	39.6	77.4
	医療関係、福祉関係、マスメディア関係の職業	77	36	20	18	8	16	45
		100.0	46.8	26.0	23.4	10.4	20.8	58.4
	自営業、農業、漁業	59	18	10	16	9	9	24
		100.0	30.5	16.9	27.1	15.3	15.3	40.7
	学 生	23	10	3	8	3	7	9
		100.0	43.5	13.0	34.8	13.0	30.4	39.1
	上記以外の会社員や団体職員(パートや派遣を含む)	230	96	47	42	22	45	116
		100.0	41.7	20.4	18.3	9.6	19.6	50.4
	無 職	328	89	58	67	40	68	158
		100.0	27.1	17.7	20.4	12.2	20.7	48.2
	不明・無回答	20	6	4	3	2	6	9
		100.0	30.0	20.0	15.0	10.0	30.0	45.0
問12		るす営差 る利別 者目を を的し 、な 法ど 律に、 で使 処つ 罰た をす り	にか同 すた和 るま地 るま区 つての 住人 ま々 ない 、 よう	なくそ とな なる と地 し区 ど口 ての おこ け出 さ ばさ や 自 然 な 差 別 に 、	そ の 他	わ か ら な い	不 明 ・ 無 回 答	
全 体		191	95	158	18	117	13	
		24.2	12.0	20.0	2.3	14.8	1.6	
職 業	国・地方公務員及び私学を含む教育・保育関係の職業	19	3	7	0	2	0	
		35.8	5.7	13.2	0.0	3.8	0.0	
	医療関係、福祉関係、マスメディア関係の職業	23	4	13	1	8	2	
		29.9	5.2	16.9	1.3	10.4	2.6	
	自営業、農業、漁業	14	13	11	0	7	1	
		23.7	22.0	18.6	0.0	11.9	1.7	
	学 生	8	2	4	0	5	0	
		34.8	8.7	17.4	0.0	21.7	0.0	
	上記以外の会社員や団体職員(パートや派遣を含む)	61	27	48	8	33	3	
		26.5	11.7	20.9	3.5	14.3	1.3	
	無 職	64	44	74	9	60	5	
		19.5	13.4	22.6	2.7	18.3	1.5	
	不明・無回答	2	2	1	0	2	2	
		10.0	10.0	5.0	0.0	10.0	10.0	

図12-4 同和問題(部落差別)の解決方法(職業別)



「国・地方公務員及び私学を含む教育・保育関係の職業」は、「学校教育・社会教育を通じて、差別をなくし、人権を大切にする教育活動・啓発活動を積極的に行う」77.4%、「同和地区の人々の仕事を保障し、教育水準を高め、生活の向上をはかる」・「市民一人ひとりが互いに交流する」39.6%、「差別をしたり、差別を営利目的などに使ったりする者を、法律で処罰する」35.8%と、他の職業と比べて高い割合を示している。